社会共創基本方針

山形大学は、地域の人々や組織と共創し、 持続可能な"幸福社会"の活力となる 多様な人材の育成と、

地域に根ざした新たな価値を創出するとともに、 それぞれのキャンパスを地域の拠点とし、 "頼れる知のパートナー"として 地域の持続的発展を支える 社会基盤(コモンズ:公共財)となります。

目標

- 1 多様な地域人材の育成と創出
- 2 地域産業構造の変革と強化
- 3 生活の質 (QOL) の向上と 健康長寿社会の実現
- 4 地域資源 (歴史・芸術文化・自然等) の 保全と活用
- 5 地域から地球規模までの環境保全促進

ワンストップ窓口サービス

地域の方及び企業の方向けに「地域・企業の方のワンストップ窓口」を令和4年1月から本学ホームページ上に設置しています。本学のどの部署に連絡すればいいかわからない場合など、お気軽にご利用ください。



https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/inquiry/onestop/

社会共創ポータルサイト

「社会との共創」に関する本学の活動を紹介するポータルサイトを公開しています! 本学と山形県内自治体との連携状況や、地域の発展・新たな価値の創出に向けた取組の紹介等様々な情報を掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。



https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/co-creation/



表紙デザイン

本学と地域の人々がともに連携して取り組みを推進することにより、地域とのパートナーシップの構築のほか、人材育成や新たな価値の創造につながっていくことを、一緒に積み木を積み上げるビジュアルに込めました。

お問い合わせ先

山形大学総務部 TEL. 023-628-4190 つなぐちから。山形大学 #前: #創: ## による持続可能な幸福社会の実現

頼れる知のパートナーを目指して

地域を"つなぐ"、 地域と"つながる"大学を 目指して

山形大学社会共創推進室長

大森 桂

山形大学副学長(社会共創担当)



山形大学は、平成27年より、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を掲げ、教職員一丸となって取り組んで参りました。新たに、令和4年度からの6年間で実行すべき事項を定めた第4期中期計画では、国連サミットにおいて採択された2030年までの世界的目標SDGs (Sustainable Development Goals)の達成に貢献する教育・研究及び社会との共創を推進し、持続可能な"幸福社会"の実現を目指すことを定めました。

その中でも、「社会との共創」を最重点項目に位置づけています。分散キャンパスを有する総合大学という特性をむしろ強みと捉え、幅広い学術活動と4キャンパスの地域特性を活かし、地域の様々な課題に多角的に対応すべく、互いに"つながる"共創の場を形成し、社会との協働を推進する中核を担う所存です。人材育成、産業強化、健康長寿、資源活用、環境保全の5分野に関する目標を設定し、具体的かつ効果的に事業を展開していきます。

頼れる知のパートナーとして、これまで以上に地域の人々・組織と"つながり"、地域の持続的発展を牽引して参ります。地域の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

目標

多様な地域人材の 育成と創出

山形大学は、地域の求める多様な人材を育成 するとともに、これら人材の定着を通じて地 域の発展を促す仕組みを構築します。キャリ ア教育やアントレプレナーシップ教育をはじ めとする教育プログラムの改革を進め、若者 が地域に定着し、県内の医療や教育、産業の 変革に貢献できる人材を育成します。また、 リカレント教育の拡充を図り、女性や外国出 身者、高齢者など多様な人材が活躍できる "インクルーシブ社会"を目指します。



シリコンバレー版 スーパーエンジニア プログラミングスクール

世界をリードするシリコンバレーのスーパーエンジ ニアから、山形県内の工業高校生がオンラインで直 接プログラミングを学ぶとともに、山形大学のデー タサイエンス高次プログラムを取入れ、より実践的 に最先端の技術を習得できる山形大学発のIT人材育 成プログラムです。令和3年度後期から東北地域の 工業高校、令和4年度から東北地域の全高校へと対 象を拡大し、多くの高校生が参加しています。



ヤマガタステム (STEM) アカデミー





目標 3

生活の質 (QOL) の向上と 健康長寿社会の実現



山形大学は、県内医療機関や行政と協働し医学部(医学科・看護 学科) 卒業生の県内定着を増加させるとともに、県内の医療従事 者が最新の医療技術と医療知識を学ぶ環境を提供し、医療の質の 向上及び県民すべてが高度な医療を受けられる体制を維持しま す。また、科学的根拠に基づいた正しい医療情報を発信し、行政 や教育機関、地域福祉事業と連携し、地域社会における疾患予防 や、体と心の健康づくりの支援を行います。異学術分野間の連携、 さらには産業界や自治体とともに共創拠点を形成し、医療技術・ 医療機器を含む新しい産業技術の開発と社会実装を行います。

重粒子線治療

東北・北海道地区では初となる、山形大学医学部東日本重粒子 センターで重粒子線(炭素イオン線)による治療を行っています。 令和3年12月には、がん治療装置「回転ガントリー照射装置」が 完成し、すべての装置が整備され、様々ながん治療へ対応可能 となりました。健康長寿社会の実現に向けて、使命感を持って 治療にあたってまいります。





目標 5

地域から 地球規模まで の環境保 全促進



山形大学は、人類が安心で幸福な社会生活を営むため、欠くことので きない豊かで健全な自然環境の利用と保全のバランスを保ちつつ、人 類が持続的に発展していくための技術を開発し、社会システムを提案 します。地域社会の人たちとともに、地域から地球規模を視野におき、 過去から未来の地域環境の理解を深め、その保全に必要な技術・シス テム開発に関わる研究と幅広い層への教育を推進します。



カーボンニュートラル研究センター

総合大学である山形大学の強みを活かし、全 6学部から様々な分野の研究者が結集、さら には学外機関とも連携して、新しい課題の発 見や文理融合による新しい方法論の獲得を進 めていきます。そして、「健やかな山形」「幸 せが続く豊かな山形」を守るカーボンニュー 立し、全国、そして世界へと発信します。















目標 2

地域産業構造の 変革と強化

山形大学は、大学等が有する様々な知的資源 を活かし、若者と社会人を対象とした高度産 業人教育と、産業のデジタル化や異分野融合 型の産業イノベーションをリードします。この ことを通して、地域企業経営の高度化、地域 産業の国際化、健康長寿社会貢献産業及び スマート農業等の新産業の推進、生活価値観 と両立した多様な職業の拡大を図り、地域産 業の付加価値向上や雇用の創出に貢献します。 目指しています。



庄内スマート・テロワール

農学部がある鶴岡市を中心とする庄内地域において、 地域の風土を活かしながら、①耕種農家と畜産農家 の連携により農畜産物を生産し、②農業者と加工業 者が一体となって加工食品を製造し、③加工業者と 地域の小売店が連携して地域内で販売し、④消費者 が望む加工食品を地域に提供する、これら全てを地 域内で完結できる"循環型の経済圏(農村社会)"を



60周年記念事業

- 庄内スマート・テロワールの取組か ら出来上がった山形大学あらびきウ
- 年会設立60周年記念トートバッグ









目標 4

地域資源 (歷史·芸術文化· 自然等) の保全と活用

山形大学は、歴史・芸術文化・自然など、豊かな地域資源 がある山形県において、その資源を基礎に行ってきた教育 研究活動を継続発展させるとともに、それら地域資源の保 全と活用を推進するためのエビデンスを提供します。また、 地域と連携しながら潜在的な地域資源を発見し、活用のた めの整備を実施するとともに、その資源を精錬し、学術成 果として地域に還元します。県民や学生が教育・研究・振興 普及活動に利用しやすい地域拠点として、大学内の学術資 源を整備し、広く活用できる環境を整えます。











エリアキャンパスもがみ

「エリアキャンパスもがみ」は、最上地域において、本学固有 の教育研究施設を持たずに、市町村の有する施設を活用して 事業を展開するソフト型キャンパスです。大学と地域の協働 による新しい連携モデルとして、最上地域の人材育成と活性 化及び山形大学の学生の課題探究能力の育成のため、教育活 動 (授業科目の開講) やもがみ活性化事業を実施しています。















企業等と共同して 具体的な課題を抽出し、 基本方針の実現に努めていきます。 加えて、地域の現状及び 将来動向の分析等を駆使して、 自治体や地域の方々に 「特色と活力のある 地域創りに向けた構想」の提言を 積極的に行っていきます。

山形大学は、地域の自治体や

